

実証試験時の確認ポイント

実際の業務での使用を通じて、以下の項目を中心に確認する

航続距離

- ・ 目標の航続距離 80 km の過不足
 日常走行時での、乗員、積載物、冷暖房、外気温等の条件の影響

充電時間

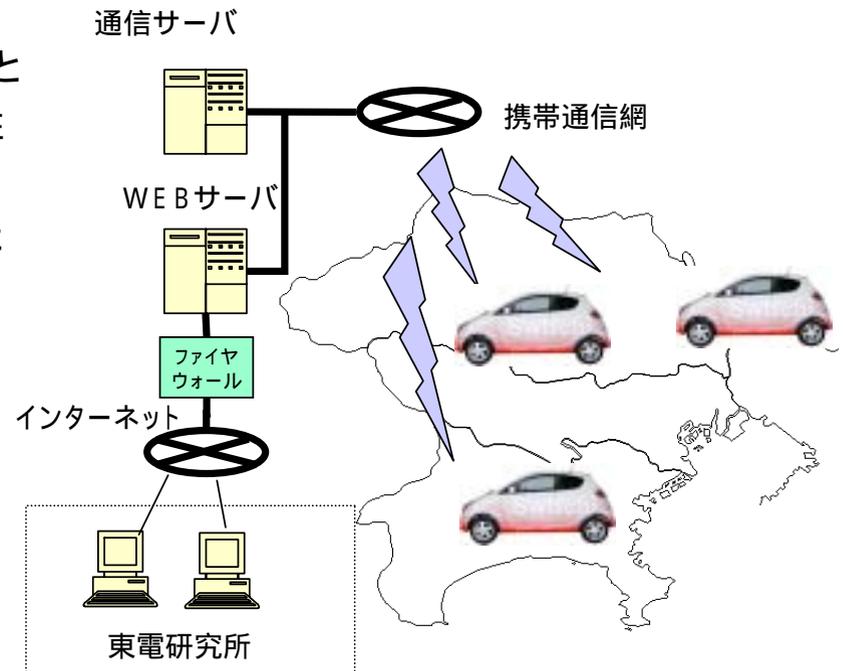
- ・ 80% までの充電を 15 分以下で行えること
 充電中の電池の温度上昇、充電器の操作性
- ・ 急速充電器の増設による利便性の向上度
 頻度の高い出向先方面に充電器を設置した場合の効果

電池寿命

- ・ 使用期間中の電池の劣化傾向を分析し、
 電池寿命の評価を行う

その他

- ・ 電池の残量系の精度
- ・ 冷暖房機能の能力



実証時のデータ収集は遠隔監視装置により行う。